

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	2	2	賦課費	68

部局名	市民部
課名	税務課

I：事業概要

施策事業名	市税賦課
事業目的	行政サービスを提供するために必要な財源として、歳入のおよそ1/2を占める市税について、公平かつ適正に賦課を行い、安定した財源の確保を図る。
事業内容	<p>●事業内容                      地方税法、犬山市税条例等に規定された市税に係る賦課業務                      ○市民税賦課(20,526千円)                      給与、年金支払報告書や確定申告等に基づき税額を算定し、納税通知書を発送                      ○資産税賦課(16,073千円)                      登記物件(土地、家屋)の税通による異動や現地調査、償却資産の申告等により税額を算定し、納税通知書を発送                      また、相続人が不存在の土地・家屋について、名古屋家庭裁判所一宮支部に相続財産管理人選任の申し立てを実施                      ○軽自動車税賦課及びその他庶務経費(4,788千円)                      市内を定置場とする軽自動車等所有者に対し、軽自動車協会からの異動報告書をもとに車両の登録を行い、税額を算定し、納税通知書を発送</p>
事業の目標・計画	<p>毎年行われる税制改正に迅速に対応し、各税目の賦課期日現在における適正な課税客体の把握と公平かつ公正な賦課業務を実施することで、確実な市税収入の確保を図る。                      【主な市税納税通知書発送時期】                      ・個人市民税 5月・6月                      ・固定資産税 4月                      ・軽自動車税 5月</p>

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
市税賦課	41,387	0	0	1	41,386	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	41,387	0	0	1	41,386	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	2	2	賦課費	69

部局名	市民部
課名	税務課

I：事業概要

施策事業名	固定資産評価替
事業目的	固定資産評価替（次回平成33年度）に向け、固定資産の評価について計画的かつ効率的に評価見直しのための各種業務を実施することにより、公平かつ適正な賦課業務に繋げることを目的とする。※評価替えは3年に1度
事業内容	<p>●事業内容</p> <p>国が定める固定資産評価基準に基づき、3年間における資産価格の変動に対応し、評価額を適正な均衡のとれた価格に見直す作業として、次回評価替年度である、平成33年度に向け、平成30年度から3ヶ年かけて各業務を実施するもの。</p> <p>○基準年度 標準宅地の検討及び選定 用途地区及び状況類似地区の検討 路線価敷設道路の状況確認等</p> <p>○第2年度 標準宅地の鑑定評価の補助 路線価への時点修正率の適用、路線価仮評価等</p> <p>○第3年度 路線価の決定 路線価の下方修正等時点修正率の適用 公開用路線価図の作成</p>
事業の目標・計画	<p>当該事業の実施にあたり、「固定資産評価支援業務」について、「債務負担行為」による予算計上を基に迅速に入札、契約を行い、3ヶ年実施事業のうち基準年度（初年度）に行う事業を確実に実施。</p> <p>【備考】債務負担行為：平成30年度～平成32年度（3ヶ年） 限度額：33,741千円</p> <p>事項：固定資産評価支援業務 平成30年度 11,598千円 平成31年度 11,465千円 平成32年度 10,678千円</p>

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
固定資産評価替	11,598	0	0	0	11,598	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	11,598	0	0	0	11,598	100%